

連絡先

グローバル/ワシントンDC

Mengistu Alemayehu (メンギツ・アレマエフ)
Tel: +1 (202) 473-5337
Email: Malemayehu@ifc.org

Martin Holtmann (マーチン・ホルトマン)
Tel: +1 (202) 458-5348
Email: MHoltmann@ifc.org

Mark P. Berryman (マーク・P・ベリマン)
Tel: +1 (202) 458-7613
Email: MBerryman@ifc.org

アドバイザー・サービス

Makanda Kioko (マカンダ・キオコ)
Tel: +1 (202) 473-4802
Email: MKioko@ifc.org

ラテンアメリカ・カリブ海

Terence Gallagher (テレンス・ギャラガー)
Tel: 55-21-2525-5869
Email: TGallagher@ifc.org

中・東欧、南欧・中央アフリカ

Marie-Paule Claes (マリー・ポール・クレイズ)
Tel: 90-212-385-3064
Email: MClaes@ifc.org

中東・北アフリカ

Deepak Khanna (ディーバク・カーナ)
Tel: 971-4-360-1006
Email: DKhanna@ifc.org

アフリカ

Tor F. Jansson (トー・F・ジャンソン)
Tel: 27-11-731-3176
Email: TJansson@ifc.org

南アジア

Swapnil Neeraj (スワプニル・ニーラジ)
Tel: 91-22-42302435
Email: SNeeraj@ifc.org

東アジア

Li Ren (リー・レン)
Tel: 86-10-5860-3072
Email: LRen@ifc.org

メディア担当

Aliza Marcus (アリザ・マーカス)
Tel: +1 (202) 473-8168
Email: AMarcus@ifc.org

マイクロファイナンス

新興市場における機会の創出





IFCの特徴

世界銀行グループの一員である国際金融公社 (IFC) は、開発途上国における成長の促進、貧困の削減、人々の生活向上を目指し、民間セクターに的を絞った活動をおこなっています。IFCは新興市場で事業展開する企業を対象とした機関として世界最大の多国間金融機関です。顧客への投融资や助言により、新興市場における収益性のある、持続可能な事業展開を支援しています。

設立以来50年余りの歴史と182カ国の出資加盟国に支えられたIFCには、世界中の新興市場での民間企業の成功を支援することに関して比類のない実績があります。私どもはグローバルな機関です。

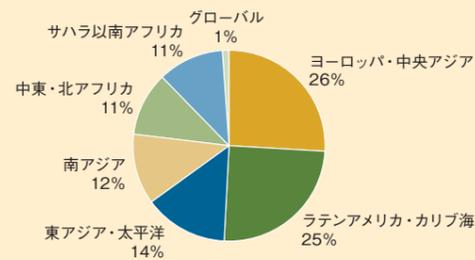
また同時に私どもはローカルな機関でもあります。事務所を86カ国以上に置き、さらに多くの国々で積極的な活動を展開しています。

私どもは途上国世界であればどの国の顧客とも仕事ができます。IFCのあらゆる事業は、人、機関、アイデア、資本を結び付ける強力なネットワークで支えられています。IFCが新興市場での成功へと導きます。

2009年度、IFCは、103カ国の開発途上国における447件のプロジェクトについて、105億ドルの投融资契約に調印し、さらに協調融資、仕組み・証券化商品、IFCの新たなイニシアティブにより40億ドルの動員をしました。また、75カ国でアドバイザー・サービスを提供しました。1956年の設立以来、IFCは800億ドルを超える自己資金での投融资契約に調印し、また協調融資で320億ドル以上を動員していますが、これらは142カ国、4,000社を対象としたものです。また、過去20年間に10億ドル以上のアドバイザー・サービスを提供していますが、これは主に開発パートナーからの拠出金で賄われています。

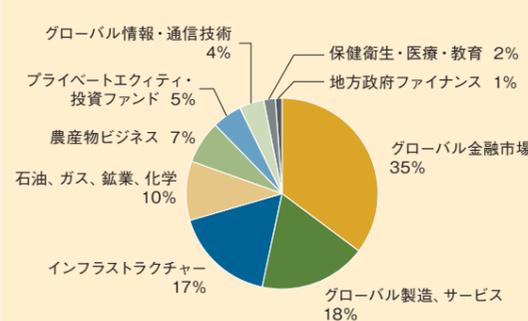
地域別契約調印済み プロジェクト・ポートフォリオ

IFC自己勘定、2009年6月30日現在



産業別契約調印済み プロジェクト・ポートフォリオ

IFC自己勘定、2009年6月30日現在



IFC：主要情報

信用格付け：

Aaa (ムーディーズ)、
AAA (スタンダード・アンド・プアーズ)

ポートフォリオ：

345億ドル、100カ国以上における1,579投資プロジェクト (2009年6月30日現在)

職員総数：

約3,400名 (50%以上がワシントンD.C.以外の地域や国の事務所に所属)

2009年度契約調印済み投資融資プロジェクト：

103カ国、447件

広範な産業専門知識：

IFCは、企業の潜在的リスクへの対応、グローバルなベスト・プラクティスや技術の事業への採用を支援します。

広範な商品：

企業金融およびプロジェクト・ファイナンス、地方政府ファイナンス、融資、株式、準株式、ストラクチャード・ファイナンス、シンジケーション、アドバイザー・サービス

パートナーシップ・モデル：

顧客との長期的パートナーシップの構築を重視

IFCのアプローチ

直接投資

- ・商業マイクロファイナンス機関の新設。
- ・非政府組織 (NGO) の、規制対象となる商業的に存立可能なマイクロファイナンス機関への転換。
- ・サービスが不十分な地域におけるNGOの支援。
- ・規模を縮小しマイクロファイナンスへの転換を希望する商業銀行、または業務を拡大し中小企業向け銀行業務への参入を希望する商業銀行との協働。
- ・画期的商品の発売。資産・負債のミスマッチを防ぐマイクロファイナンス機関への現地通貨建て融資など。
- ・機関投資家向け商品の提供。

間接投資

- ・合同運用ビークルを通じた民間機関投資家のマイクロファイナンスへの取り込み。
- ・ネットワーク・パートナーと共同でのマイクロファイナンス持株会社創設。
- ・民間セクターを「呼び込む」ため、投資家にとって魅力的な投資対象資産としてマイクロファイナンスを宣伝。

アドバイザー

- ・フロンティア地域の新興マイクロファイナンス機関に対する、経営支援、社員教育、技術支援。
- ・既存のマイクロファイナンス機関の商業化促進のための能力強化支援。
- ・サービスが不十分な地域を対象とした金融サービス利用拡大につながる革新的ソリューションの実施支援。モバイル・バンキング、少額貯蓄動員など。
- ・CGAP (貧困層支援協議グループ) や世界銀行などの機関との協働による、指針や金融インフラの整備。例えば、マイクロファイナンス信用情報など。
- ・知識を共有するための内部基盤やイベントを通じた、マイクロファイナンスにおけるベスト・プラクティス普及を主導。

詳細につきましてはIFCのウェブサイトをご覧ください。

www.ifc.org/microfinance

スポットライト

リベリアの開発途上にある民間セクターを対象とした初めてのマイクロファイナンス機関であるAccessBank Liberia (アクセスバンク・リベリア) は、IFCの援助により2009年に設立されました。設立時の株主として、IFCは同行に108万ドル出資し、18%の株式を取得しました。また、同行にアドバイザー・サービスや技術支援を提供する複数年にわたるプログラムにつき、120万ドルの契約を締結しています。

「AccessBank Liberia に対するIFCの投資は、リベリア初のマイクロファイナンス銀行設立に力となってくれました。おかげさまで、リベリアの人々はマイクロ・ローンが利用できるようになり、また貯蓄も可能になりました。これらは事業を築き、また家族を貧困から救い出すために必要なものです」
— AccessBank Liberia CEO, Mary Odong (マリー・オドング)

「AccessBank は取引しやすく、金利も大変有利です。私にとって天の恵みです。これで明るい将来が開けました」
— 地元の起業家、Abdulwasiu Suleiman (アブドゥルワシ・スレイマン)
首都モンロビアでの2店目の衣料品店 開店資金としてAccessBank Liberiaから1,700ドルの融資を受けました。

マイクロファイナンス商品

- ・優先債
- ・ファンド組成
- ・現地通貨建て優先債
- ・ストラクチャード・ファイナンス商品
- ・準株式
- ・アドバイザー・サービス商品は投資プロジェクトとリンクし、プロジェクト・ベースで顧客のニーズに合わせて特注となります。
- ・劣後債・転換債
- ・保証

IFCとマイクロファイナンス

IFCのマイクロファイナンス関連活動

● IFCはマイクロファイナンス機関に関する取り組みにおいてトップの国際的機関投資家であり、サハラ以南アフリカの21カ国を含む60カ国以上の100余りの機関と協働関係にあります。

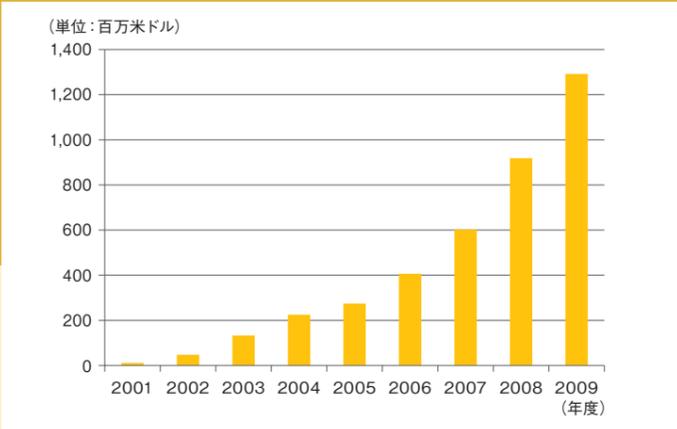
● IFCは投資額において有数の国際的機関投資家です。2009年6月現在、IFCのマイクロファイナンスへの投融資額は合計13億ドル、2009年度の契約調印額は3億7,300万ドルでした。

● IFCの顧客マイクロファイナンス機関は、2008年、全世界合計で1,200万件、160億ドルの貸出を実施しました。マイクロファイナンスの最終的な借り手のおよそ65%は女性でした。

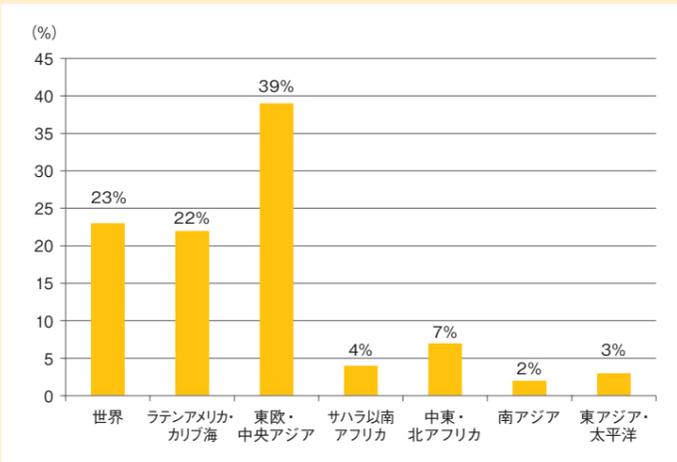
● IFCはアフガニスタン、コンゴ、コンゴ民主共和国、シエラレオネ、リベリアなど、紛争の終結した国々で活発に活動しています。

● IFCはマイクロファイナンス投資の顧客の約55%に対して、5,000万ドル以上のアドバイザー・サービスを提供しています。

マイクロファイナンス機関へのIFC資金契約調印額



契約調印済IFC資金の地域別割合（2009年度）



IFC のマイクロファイナンス戦略

IFCは、各地のマイクロファイナンス機関が事業領域を拡大し、世界中のより多くの貧しい人々が金融サービスを利用できるように、商業マイクロファイナンスの分野でリーダーシップを発揮することを目指しています。

・大きな市場でのサービス提供
　・市場の形成
　・貯蓄の奨励
　・革新の促進
　・機関能力の強化



マイクロファイナンスの時代が到来しました。すでにマイクロファイナンスは貧困との闘いで重要なツールとして目に見える実績を上げ、金融の主流に加わっています。しかし、マイクロファイナンスを利用できる人は、世界全体で30億人を超える貧しい人々を中心とする潜在的市場の2割にも達していません。より多くの貧しい人々が必要な金融サービスを利用できるようになり、それをきっかけに事業を軌道に乗せ、よりよい生活を築き上げられるようになるには、これまで以上の民間投資が求められます。

IFCは、民間資本を引きつけることができ、商業的發展が見込まれるようなマイクロファイナンス機関の設立・育成に重点を置いています。なぜなら、こうしたマイクロファイナンス機関の事業拡大をサポートすることで、より多くの人々に資金を提供できるようになるからです。IFCは、民間の機関投資家に対して商業的マイクロファイナンスの事例を紹介し、投資対象資産として検討に値することを示す、いわば触媒的な役割を果たしています。1990年代初めに商業マイクロファイナンスの先駆者となって以来、IFCはこの分野のイノベーションを主導してきました。その間、技術革新や金融商品の開発、そして経営指針の改善を通じて、より多くの人々により効率的な手法でサービスを提供できるように、各地域のマイクロファイナンス機関を支援してまいりました。

IFCはマイクロファイナンス・セクターに対してアドバイザー・

サービスや、直接的、間接的投資サービスを提供しています。

IFCのアドバイザー・サービスのポートフォリオとしては60件のプロジェクトが世界各地で実施されており、アフガニスタン、シエラレオネ、イエメンなどのフロンティア諸国で活動しています。フロンティアや紛争の終結した国々では、マイクロファイナンスが最初の重要な取り組みであり、紛争後の成長の原動力となる中小・零細企業を支援します。IFCの支援するマイクロファイナンスのアドバイザー・プロジェクトは、約500万人に上る小規模起業家の資金調達を促進してきました。

マイクロファイナンスに関するアドバイザー・サービスの2010年度の重要な取り組みとしては、マイクロファイナンス業界における貯蓄動員の大幅な拡大、ポートフォリオ顧客向けリスク管理の枠組み強化、マイクロファイナンスの信用情報整備などがあります。将来的には、金融サービスを届けられる対象の拡大、能力強化、貯蓄の動員や多様化に重点を置くことにより、IFCは持続的な貧困緩和を目指します。

成功へのパートナー

世界的金融危機への対応策 —マイクロファイナンス

世界的金融危機に対応するため、2009年2月、IFCとドイツ復興金融公庫（KfW）は「マイクロファイナンス強化ファシリティ（MEF）」を立ち上げ、最高5億ドルの短・中期資金供給のため、第一段階としてIFCが1億5,000万ドル、KfWが1億3,000万ドルを拠出しました。本ファシリティは40カ国以上の100余りのマイクロファイナンス機関に借り換え用の資金を提供するものです。Blue Orchard Finance（ブルー・オーチャード・ファイナンス）、Cyrano Management（シラノ・マネジメント）、ResponsAbility Social Investments（レスボンサビリティ・ソーシャル・インベストメンツ）という業界大手のファンド運用会社3社が運用を担当します。

ProCredit Group

ProCredit Holding（プロクレジット・ホールディング：PCH）は、IFCにとって最も古く、かつ最大のマイクロファイナンス顧客です。PCH傘下の銀行22行は、アフリカ、ラテンアメリカ、東欧で業務展開しており、全世界合計851の支店があります。PHCは小規模企業に的を絞った質の高い銀行業務をおこなっています。2009年6月30日現在のPCHの融資残高は33億ユーロ超、融資件数は980,150件となっています。2009年6月現在、PCHと子会社に対するIFCの投資額は合計1億4,400万ドルとなっています。

インド Avishkaar

IFCはAvishkaar Goodwell（アヴィシュカール・グッドウェル）投資ファンドに270万ドル出資しています。特にインドの非銀行系マイクロファイナンス機関（MFI）の立ち上げ時期に的を絞った投資です。本ファンドは、融資に加え、情報技術・経営情報システム、手順および訓練という重要分野において、革新的なフランチャイズ・モデルの下、新興MFIにアドバイザー・サービスを提供しています。2007年の設立以来、2,660万ドルの同ファンドは5件の株式投資をおこなっています。

カンボジア Aceda Bank

IFCは、カンボジアのAceda Bank（アクレダ銀行）が、農村開発に特化したNGOから、全国219の支店網を有し214,000人を超える顧客にサービスを提供する大手商業銀行に転換するにあたり支援しました。IFCは同行の株式資本の12.5%を保有しており、2009年6月現在、同行に対する投資の内訳は、融資600万ドル、株式375万ドルとなっています。

バングラデシュ BRAC

IFCはダッカのシティバンクによるBRAC向けの現地通貨建て融資について1,800万ドルの部分信用保証をおこないました。BRACはバングラデシュ最大のMFIのひとつで、融資先640万人、融資残高は6億6,600万ドルに上ります。

ベルー Mibanco

IFCはベルーで最初に登録された営利目的の商業マイクロファイナンス銀行であるMibanco（ミ・バンコ）の株主であり、最大の貸付人です。IFCはMibancoへ4,800万ドルの貸付けおよび株式投資をおこなっています。2008年末現在、Mibancoは全国103の支店で362,000人の顧客にサービスを提供しており、融資残高は7億8,000万ドルとなっています。

アフリカ Advance

ルクセンブルクのAdvans S.A.（アドバンスS.A.）は、開発途上国におけるマイクロファイナンス機関のネットワーク作りに取り組むベンチャー・キャピタル投資会社です。現在の出資先には、Advans Cameroun（アドバンス・カメルーン）、Advans Ghana（アドバンス・ガーナ）、Advans Banque Congo（アドバンス・バンク・コンゴ）、Advans Côte d'Ivoire（アドバンス・コートジボワール）などが含まれます。IFCはAdvans S.A.およびガーナ、コンゴの機関に直接、株式投資をおこなっています。

アゼルバイジャン AccessBank

2002年、IFCは170万ドルの株式投資の実施と他の国際投資家からなるコンソーシアムをまとめることで、AccessBank（アクセス・バンク：AB）の設立を推進しました。今日、ABはAccess Microfinance Holding（アクセス・マイクロファイナンス・ホールディング）の一部となり、アゼルバイジャンの主要民間銀行となっており、主に中小企業向けの総合銀行業務をおこなっています。現在、IFCは同行株式の20%を保有し、1,500万ドルの優先貸付契約に調印しています。

European Fund for South East Europe (EFSE)

European Fund for South East Europe（南東欧州基金：EFSE）は集団債券投資ビークルで、南東欧のMFIを通じて小規模企業向けオン・レンディング用の長期資金を供給しています。EFSEの株主は、KfW、IFC、FMO（オランダ開発金融公社）、およびヨーロッパの出資者のコンソーシアムです。EFSEは4億ドル以上の投資資金を集め、ブルデンシャル・ファイナンシャル社の専門投資パートナーが運用する民間運用基金です。